

やすらぎだより

6
月
号

陽気で緑にあふれた生活 それがやすらぎ園です

Tel 0743-69-2216
Fax 0743-69-2101
Mail yasuragi@crux.ocn.ne.jp
HomePage <http://www.yasuragien.jp>
発行元 広報福利員会

発行日 平成27年6月1日

コラム第120号

「福祉施設長のあり方」

施設長 植田 誠



この3月に全国社会福祉協議会が「目指すべき施設長像」を提言した。要旨はこうだ。

「経営管理の責任者というだけではなく、福祉施設長は生き方も含め人格も施設と一体化して見られる存在であり、高い意識と行動力が求められると共に、福祉サービスの質を大きく左右する立場にあることから、諸課題に取り組み実績を示し、法人のみならず広く社会に伝える者」

全国に福祉施設長は3万人程いるらしい。この提言をどのように感じているのか、受け止め方は様々だろう。

品位品格に乏しい私は、日々の言動には充分注意しているつもりではある。否、注意をしなければオフの時には‘ついつい’が繰り返してしまう。

先日もある酒席でのこと、同席の淑女から警告を受けた。

「施設長として、相応しくない発言です！()_()」

酩酊してはいないが充分ほろ酔い気分の中、思うがままに楽しく飲み言いたいことを遠慮なく言う場、決して酒宴の雰囲気もこわしていないし失言の意識もない。酒の場でよくある冗談の一つとして、普段なら皆が忘れ去ることであろう一言に、‘施設長として’が付くだけで「施設の人格を意識しろ」と教示されているようだ。

「その生き方も含め人格も一体化・・・」は、理解はするが中々手厳しい。

福祉施設長は施設の‘顔’だ。その顔に焦点を当てそのあり方について議論することは結構。しかし、顔は千差万別、皆が同じ顔を目指せば違いがわからず、何よりおもしろくない。いわんや‘生き方云々’まで明記しなければならない程の危機感、違和感を垣間見てしまう。

人格とは人間性でありパーソナリティー、3万人いれば3万通りの施設長がいて当たり前。福祉の原点はそこにある。



社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- 特別養護老人ホーム やすらぎ園
- 在宅サービス事業所
居宅介護支援事業所
訪問介護事業
訪問入浴介護事業
- 短期入所生活介護事業
- 在宅介護支援センター
- 天理市東部地域包括支援センター
- ケアハウス やすらぎ
- 介護予防関連事業
- グループホーム むつみあい